

南月山山行報告

【山行日】2025年 6月 5日(木) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:30

【費 用】マイカー1台 : 3,200円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:大西

大塚、佐藤、嶋田、高岩、長谷川

【コースタイム】栃木市運動公園 P6:30＝那須R
W山麓駅 P7:40/8:30+++山頂駅 8:40/8:50～牛ヶ
首 9:10～南月山 10:05/10:20～牛ヶ首 11:00～
峰の茶屋 11:20/11:30～峠の茶屋 12:10/12:50～
山麓駅 13:15/13:30＝道の駅「友愛の森」
13:55/14:10＝栃木市運動公園 P15:10



入会希望の長谷川さんの体験山行の日程が合わず、長谷川さんの都合が良い日に合わせて南月山を計画した。先週の男体山で声を掛けた高岩さんに案内を送ったら、是非参加したいとの返事が

あり7名で栃木市運動公園を出発した。那須ロープウェイ駐車場に早く着き、出発の準備をしてロープウェイの改札で30分待たされる。始発のロープウェイは時間通りに出発し、山頂駅に着いたらストレッチを行って出発する。10分程登ると茶臼岳への分岐に出て、案内標識に従って左に牛ヶ首に向かって進む。茶臼岳の南斜面を巻くように進み、ザレた急坂を登ると牛ヶ首に着く。展望が良くベンチや方向指示盤があるが、風が強いので左に南月山

に向かって尾根を進む。少し先の風が当たらない場所で休憩し、衣服調整と水分補給を行う。

このあたりからミネザクラの花が見られるが、見頃は過ぎていて花が少ししか残っていない。

ムラサキヤシオの花も見られ、皆さん笑顔でスマホに収めている。小さな岩場を越えると歩き易い道になり、緩やかに登ると沼原からの道が合流する日ノ出平に出る。やがて広く平坦な火山礫の中を歩き、火山岩の斜面を登ると南月山山頂に着く。山頂からの展望は素晴らしく、特に北側に聳える茶臼岳の姿が美しい。休憩を取ってリンゴや菓子をいただき、山頂からの展望を楽しむ。記念写真を撮ったら下山開始し、下山は往路を牛ヶ首まで戻る。

山頂からの下りは茶臼岳を見ながら歩き、青空に聳える茶臼岳は何度見ても飽きない景色である。



牛ヶ首まで戻りここから茶臼岳の西側に付けられた巻道を、峰の茶屋に向かって歩いて行く。

轟々と水蒸気が吹き上がる無間地獄と言われる噴気孔の脇を通り、姥ヶ平を見下ろしながら歩ける



道はとても楽しい。硫黄採掘跡を右上に見ながら尾根上に登り、ここから少し下ると峰の茶屋に着く。風が強く避難小屋に入って休憩し、菓子やゼリーをいただきエネルギーを補給する。

ここから朝日岳まで登る計画だったが、風が強いので朝日岳に登るのは断念し、峠の茶屋に向かって下ることにする。

峠から少し下ると風は弱くなり、ザレた登山道を滑らぬよう慎重に下って行く。朝日岳荒々しい岩峰を見ながら下る道は、いかにも那須らしい景

観で楽しく下れる。中の茶屋跡を過ぎると樹林帯の中を下るようになり、ムラサキヤシオの花が見

頃で目を楽しませてくれる。小さな橋を渡ると鳥居をくぐり、登山指導所の先を左に下りベンチやテーブルがある園地でランチタイムとする。テーブルにそれぞれが持ち寄ったランチが並び、お惣菜やデザートも出て豪華なランチをいただいた。ランチが済んだらすぐ下の駐車場のトイレに寄り、ここからロープウェイ駐車場まで石畳の道を下って行く。駐車場に着いたら靴を履き替え、車に乗って帰路につく。途中の道の駅「友愛の森」によってお買い物。最近リニューアルして売り場は



広く明るくなったが、野菜は以前の売り場の方が多かったような気がした。買い物が済んだら車に乗り、那須ICから東北道に入り予定より早く栃木市運動公園に帰着した。